

「占い蓮」会報

心の道しるべ 会長金言



会長
中村皓導

「戒急自忍」
占い蓮の教室正面に掲げられた額に記された「戒急自忍」の四文字は、中村会長が創案された若年の頃からの行動原理にもなっている血の通った人生訓です。

字句の解釈を申し上げますと、まず「戒」は戒律を意味します。戒律の元の意味は宗教的に守らなければならない規則ですが、一般的に言うならばやっつけではない事とやらなければならない事の二つに内容が分けられると思います。



仏教ではよく「功德を積みなさい」という事を言いますが、たとえ善事を行い功德を積んだところで、一方で悪事を働いたならば、せっかく積んだ功德もガラガラと音を立てて崩れ帳消しになってしまいます。このような愚を犯してはなりません。次に「急」ですが、これは「急ぐことなけれ」の意味です。急いで事を仕損ずるとは昔から言われることではやる心を押さえつつ力をためて、ここぞというところで発揮させれば勝利を手にする事ができます。

なるべくスピーディーに楽しんで成功したいと思ってもそうは問屋が卸さないのが世の中です。周囲の動向に振り回されず、じっくりと自分に磨きをかけ満を持したのち勝負をかけましょう。三冠を達成した歴史的な馬ダイーブインパクトはスタートで出遅れても最後には直線でごぼう抜きしてトップでゴールを駆け抜けました。人間も最後に笑える人生が最高です。

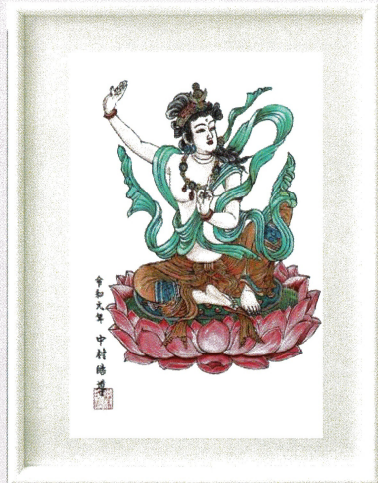
あとは「自」と「忍」ですがこの二つを切り離して考えることはできません。「自」とは自助努力、「忍」とは忍苦を指します。努力せず忍耐心に欠ける者は絶対に成功しません。長い人生のうちには努力の結果失敗することもあります。

また他人との競争に敗れる時もあります。そうした時に腐らず投げ出さず、また立ち上がって頑張る不屈の闘志は忍耐心から生まれます。成功に必要な努力の継続には忍耐心が不可欠なのです。仏道修行における六波羅蜜（六つの修行徳目）の中でも忍辱行（にんにくぎょう）種々の侮辱や苦しみへ耐え、心を動かさないことは中心となる行です。密教では六波羅蜜といつて六波羅蜜に対応するお供物を定めています。忍辱行に対するお供物は華鬘（けまん）古代インドでは生花で作った花輪のこととなっており、これは心に花を咲かせて健気に生きようというものです。結びに皆様が戒急自忍の精神を我が身に体して、人生の荒波を乗り越え、いずれは大輪の花を咲かせることを心からお祈り申し上げる次第です。



自忍は
教室にあり
戒急自忍
教室にあり

七母女天観音 像画



七母女天観音図
中村皓導作

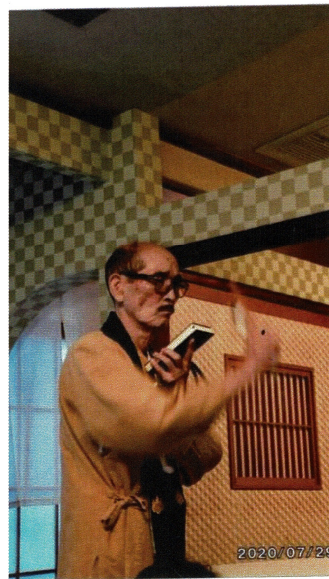
七母女天観音はインド神話の女神サブタマトリカーが仏教に取り入れられ、仏法守護の善神となった天部の神様です。左手の中指が一本立てられたお姿は、「一願成就」のご本尊にふさわしい尊形となっております。

御尊図は複製画に対し中村会長が一枚一枚、観る角度により光を放つという特殊技術で加筆され、魂入れの祈禱がなされております。心願成就の為にぜひ貴宅にお迎えください。

頒価 一万六千五百円 (税込み)

ご祈禱しました

七月二十九日(水)所沢蓮道場本堂に於いて祈禱札の祈禱祈願の法会を開催致しました。本年はコロナ禍の中滝修行も中止となりました関係上、本来滝場にて行うパワーアップと特別先祖供養のご祈禱に加えまして、その他の祈願内容のお札も広く受付をさせていただきます。



当日は中村会長導師のもと、本部役員を加えました総勢六名の法要衆が威儀を正して厳粛なる雰囲気の中に執り行われ、本山同様の祈禱次第ののつとり約四十分間の法儀を滞りなく終えることができました。力強い読経の声の響きわたる堂内に中村会長の振る木剣（もっけん）日蓮宗で特に資格を有する僧侶のみが使用を許された法具の響きが天にも届けとばかり共鳴し、聖なる空間を紡ぎ出します。

終了後、会長のお言葉の中に「ご本尊聖観世音菩薩の右肩が光っている」との文言があり、何と驚くべきことに当日撮影した写真にその模様がはっきりと写っておりました。

またそれ以外にも阿字観の梵字の額が青く光る、祈禱する会長の周囲が紫色に包まれる等の奇瑞が現れ、この有様は全てカメラに収まっておりま



お札自体は身延山のものを使用しておりますが、修法は中村会長により施されました霊験あらたかなお札でございます

祈願祈禱札の 受付しております

御祈願内容
厄除け
家内安全祈願
子宝祈願
方位除け
災難消滅祈願
病氣平癒祈願
合格祈願
就職祈願
良縁祈願
商売繁盛
心願成就
水子供養
その他の御祈願も申し受けます

頒価 七千円〜三万円



かくして多数お申し込みいただきました祈禱札は、素晴らしい現証を伴って神仏の元に届きました。願主の皆様方は定めて御力を戴けるものと確信致します。蓮では今後この祈禱祈願会を夏期の恒例行事として継続していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



占い蓮・関東現代易占学研究会
日本皓導流加持祈禱神霊学会本部
WHEEL of FORTUNE REN株式会社

〒167-0053
東京都杉並区西荻南3-10-6 西荻スカイビル5F
TEL 03-5941-5921 FAX 03-5941-5926
HP 占い蓮.com e-mail info@uranai-ren.com



易経に見る真理のことば

「天を信ぜよ」

易経に見る真理のことば

「初筮しよぜいは告す。再三すれば
瀆けがる。瀆るれば告げず」

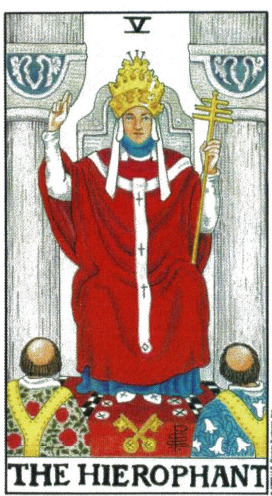
(易経第四番 山水蒙の卦辞より)



蓮で使用するタロットテキストの禁忌事項の説明には大アルカナ編一度占った内容でもう一度占いたい時は、最低八日間空けること。(八日間努力し、九日目に再度占える)とあります。占って期待外れの答えが出てくると、ついついやり直したくなりますが、これはダメだと言っているわけです。

タロット解釈

法王



タロットカード5枚目に登場する法王。彼の役目は天の神と人々の仲介役です。人々に神と縁をつくり、幸せに導くのが彼の使命。彼は全ての人が神の元で平和に幸せに暮らせるように、昔から伝わる常識やルールを伝え続けます。改革や変化を好まず、彼の教えや行動は一貫性があることから「現状維持」の意味も持ちます。

易学の占いでもこの点は同様であり、その典拠は有名な山水蒙の卦辞に表れています。字句の意味は、人が切実にまた純粹に真実を求めるなら、天は必ず正しい答えを授けるといふものです。初筮は告す。

そのようにして頂いた答えが気に入らず、何度も繰り返して伺いを立てるのは、天を疑い冒瀆するのに等しい。冒瀆する者には答えず(告げず)となる、当たり前の話ですね。



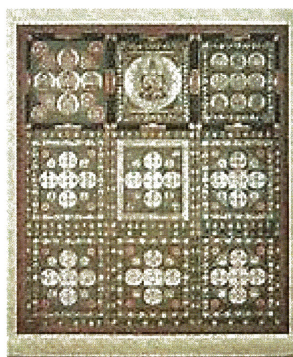
筮は告げるという言葉があるように、筮竹を手に取り深く祈ったのち、卦を立てるならズバリの答えが出るのが易占の神秘、これは一世一代の真剣勝負です。真剣勝負に「再び」は存在しない。教えを乞う者と教える者のあり方を説いた山水蒙は教育の卦といわれます。真実の扉を開けようと思えばどういう心構えが必要かをこの一文は教えてくれます。

常に現状に満足せず、改革し続け、前進する皇帝のカードとは対照的でもあります。若い頃の私は皇帝の方が断然カッコいいと思っていました。現状に満足することなく常に更なる勝利を求めて改革する姿は勇敢で頼もしく思えたものです。それに比べて、改革を好まない法王は保守的でなんだか弱い人のように思えました。けれども今は違います。仏教には「諸行無常」と言う言葉があります。この世の万物は常に変化して、ほんのしばらくも止まるものはないと言う教えです。むしろ「変化」は当たり前のことかもしれません。変化著しい諸行無常の世の中で、周りに影響されることなく現状維持を貫く法王の強さこそ常識破りと言えます。う。タロットに描かれた法王は目の前の司祭に教えを授けています。それこそ諸行無常の世の中でずっと昔から変わらないものの、「神の愛」なのかもしれません。

両界曼陀羅

(中村皓導師開眼供養済み)

両界曼陀羅は平安時代に空海が唐から帰朝するに際して、師である恵果阿闍梨から授けられたのが日本に入った最初で、以来現代に至るまで全国の密教寺院を荘厳する法具としてお祀りされてまいりました。



金剛界



胎蔵界

元来が法具でありますからその用途は礼拝、供養、瞑想、祈禱等の対象として多くの人々にご利益をもたらす聖物として崇められております。このたび中村皓導師先生は、この貴重な曼陀羅の功徳を寺院や僧侶ばかりではなく、広く一般在家の方々にも享受していただきたいとお考えから、開眼供養(魂入れ)を施し皆さまにお頒けする運びとなりました。

屏風形両界曼荼羅

実物は色紙大の持ち運びにも便利なサイズとなっております。お宅に仏壇の有無に関わらず部屋の東側に西を向く形で安置していただければ良く、場所も取らないので一般家庭でも祀りされるには最適です。



頒価 五千五百円

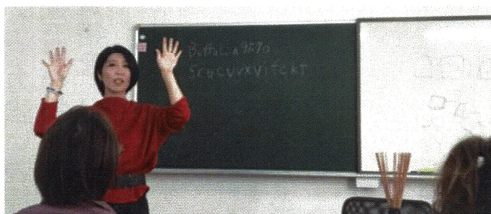
(税込み)

祝

皓導師弟子に入門されました

串田 和佳子先生

今後益々のご活躍をお祈りいたします

直弟子 石川敬皓先生
占い YOTOYA 代表
学んで生かす叡智

町田市成瀬の北島工業北島塾セミナー室にてセミナー

占いに全く興味のなかった私が占いの教室の門を叩いた理由。それは「死ぬまで働き続けるための武器(資格)が欲しい」でした。しかしながら蓮で学ぶうちに、その考えのあまさを痛感しました。占術の一つ一つが古来からの「叡智」であり、それを伝えるための学びには終わりがありません。小手先の技術ではしのげず、自らの生き様の中に浸透させて初めて「善用」でできるものだということを会長・先生方の後ろ姿からひしひしと感じ、猛省したのでした。教室で惜しげもなく与えて頂いた様々と共に学んだ同志は私の「核」です。それから鑑定師になり約十二年。今、個人鑑定師並びに占い教師として個人で活動させていただいております。

学ぶ多くの人が占いの神髄を受取り、拡げられますように。感謝。
町田バリーニーズにて鑑定



大好評

所沢 瞑想坐禅会

毎月 第四 土曜日 開催

蓮道場
割烹[美好]内
埼玉県所沢市有楽町13-8午前の部 11:30~12:30
午後の部 13:30~14:30参加費2,200円
問合せ・申込み
要予約
TEL 03-5941-5921
占い蓮